

Lend a Hand 一手を貸そう



2003-2004年国際ロータリーテーマを実行しよう



「今日、ロータリアンが何を」

国際ロータリー第2650地区

2003～2004年度 ガバナー 福井正典

いまごろの季語に「山^{したた}滴る」とあります。山の岩壁や苔から滴り落ちる点滴は、炎天の中でも、心に涼しさを呼んでくれます。お互いに暑さに負けず、活動を展開したいものです。

お一人お一人の実践が理想を実現させる

7月初旬から公式訪問が始まり、順次にクラブを訪れましたが早い時期にお伺いしたクラブの方々には準備が大変であったと思います。クラブ活動概況報告書を作成されて、活動計画だけでそんなことはないと思いますが、委員会活動が終わったと考えるしないで下さい。ロータリーは実践哲学です。これからお一人お一人のボトムアップの実践によって奉仕の理想が実現します。

私もこれからが楽しみと思っております。8月からIM第3組京都南部が京都モーニングRCのホストで8月23日に行います。全員参加で親睦の輪を大きくしましょう。

明日のロータリーがどんなものになるかは誰も知りません。けれども、ひとつ確かなことがあります。明日のロータリーの姿は、今日、ロータリアンが何をするかにかかっているという事です。

職業を大切にしましょう

ロータリー綱領 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること；

即ち、職業奉仕活動を鼓吹育成しましょう。

職業奉仕 ロータリーの第2奉仕部門、その目的には事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かして行くことが含まれる。クラブの役割としては、クラブ会員の手腕を生かして社会のニーズに応えられるようなプロジェクトを開発することが含まれる。また、ロータリアンの役割としては、ロータリーの原則に沿って、自らの自分の職業を律し、併せてクラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれております。

四つのお願い

1. 顧客に対して

最上の品質、最高のサービスを提供しているか。常に正直と親切を旨にしているか。

2. 従業員に対して

彼らの長所を十分に認め、かつ買っているか。安全で快適な職場を確保しているか。苦情に対して公平な態度で対処しているか。自ら誠実、正直、善意の手本を示しているか。

3. 競争者に対して

公平な態度で接しているか。あなたは行動をもって誠実を感銘させているか。彼らとともに事業水準の高揚に努めているか。

4. 協力者に対して

公平でしかも友情にみちた関係を保っているか。いつも支払をよくしているか。

(職業奉仕四つの反省)

心の内ポケットに入れてください

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私は以下の要請に応えんとするものである。

1. 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
2. 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德水準に対し、名実ともに忠実であれ。
3. 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
4. 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他の事業または専門職務上関係を持つすべての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
5. 社会に有用なすべての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
6. 自己の職業上の手腕をささげて、青少年に機会を開き、他人から格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
7. 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うにあたっては、正直専一なるべし。
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与えうることなかれ。

(職業宣言)

マインド・シェアを高めよう

8月会員増強および拡大・退会防止月間を協調し、明日のロータリーを確かなものにしましょう。

現会員の心をつかみ、マインド・シェアを高めながら、あなたのクラブを多くの人にとって魅力的な市場性のあるクラブにしましょう。ロータリーも「品質とサービス」について社会から、会員から満足されますようお互いがロータリアンとして一人一人の草の根運動によって顧客満足から顧客感動まで実感してもらえよう。

そのためにも今より以上に自分の職業を品格ある権威あるものにしましょう。そして私も入会させてもらえないか云われるクラブにしましょう。

お願い

◇ 9月 新世代のための月間に向かって、新世代と協力する機会を持ちましょう。

◇ 10月 職業奉仕月間の立案にクラブの注意を喚起する。

ロータリー綱領のもとに職業奉仕月間の立案をお願いします。併せて米山月間の企画をお願いします。

◇ IM

インターシティー・ミーティングの略称で、複数のクラブで実施する都市連合会です。その目的の第一は、会員相互の親睦と面識を広めることにあります。

会員にロータリー情報を伝え、立派なロータリアンになってもらうため、経験豊かなリーダーのもとに、ロータリーの奉仕の理想を勉強する会合であり、決議や決定はありません。楽しみましょう。

◇ 国際大会を楽しみにしよう。

◇ オリエンテーション・プログラムを設定し、新会員と共に教育勉強しましょう。

◇ 地区大会各クラブ推進実行委員のもとに、草の根の全員参加で、各クラブの自主的な地区大会への参加を期待します。

以上、の実現に、お1人おひとりの「手を貸そう」ではありませんか。



【新世代のための会議】今こそ、原点に戻ろう。

2003-2004年度 地区新世代委員会
委員長 森 定 秀 夫 (京都西北RC)

日頃、皆様には地区新世代委員会活動に深いご理解とご指導を頂きまして、感謝しております。さて、2001年版手続要覧の第2部第8章に新世代のためのロータリープログラムがあります。これは新世代委員会が担当する役割です。

ロータリーの綱領の中にロータリアンは、道徳、倫理観を高めなければならないとあります。若者が、道徳、倫理観をしっかり持って、自分も大事にして、相手も大事にして自他ともに認識し合いより良い社会を築く為に、貢献できる人材を作るということ、つまり、この地区の社会奉仕を通じて、人材育成することが、この新世代委員会の目的だと思います。

さて、地区新世代委員会は、第1回新世代委員長会議を開催して、「新世代のための会議」の開催の意義と「9月の新世代のための月間」について説明いたします。そこで、新世代のための月間中に、当地区内、全94クラブで【新世代のための会議】の開催する事を希望します。当地区では「新世代のための会議」を各クラブで開催するように求めて8年経ちます。しかし「新世代のための会議」の内容が各クラブによっていろいろと変化してきています。もう一度、原点に振り返って、私達の、この会議の目的は、第8章の新世代のためのプログラムなのです。100年のロータリーの歴史を引き継ぐのは、新世代の青少年であり、そこには心の準備が必要であります。

最近子供が危ないという事がよく言われます。青少年の不祥事件、不登校、学級崩壊、薬物濫用、幼児虐待などが大きな社会問題となっています。青少年問題の原点が「家庭教育」の不足であり、「家庭教育」は「心の教育」として注目すべきであります。又、家庭教育は親の行動が基となるのです。これは戦後半世紀に渡って、誤った教育を正常に取り戻すために教育改革が始まり、物から心への教育、考える力、生きる力を作り出す教育に進んできています。家庭問題を地域社会がいかに拘わっていくべきかななどの問題提起となってきています。このような地域社会の中で、ロータリアンが青少年に対してやるべき会議(新世代

のための会議)は、今、青少年が何を考え、何に関心を持ち、悩み、発言したいかを話し合い、希望、夢、抱負を語っていただき、青少年達と地域社会の問題点の解決策を見出し、目的達成に必要なものを見つける事が重要です。又、地元レベルで地域指導者と若い人の対話の場を作ることです。

：会議の目的は、地域社会の指導者と若者との間で、地元レベルでの対話の場を作り若者達が自分達の関心事項について発言する機会を提供し、彼らの目標を達成するのに必要な援助の方法を見つける。

：地域社会のニーズを検討する過程に若者達を参加させるように、地域社会の指導者を奨励する。

：地域社会の繁栄の責任を共有するという意義を植えつける。

会議のプログラムを計画する際には、この会議がスピーチや講演だけで終わるのではなく、討議の場を提供してください。又会議形式ではなく、屋外にて社会勉強をして頂くプログラムも大変結構です。その結果を簡単に結構ですので、レポート1～2ページにまとめて写真を入れて、その報告書を地区委員会又はガバナー事務所に出して頂きたいと思っております。それを、当委員会ではまとめて地区の新世代のための会議報告書を作成して、各クラブに配布して、又、他の地区にも配る予定です。又、9月の新世代のための月間において「各ロータリアンは青少年の模範」というスローガンがありますが、従来、紙のれんを送付し、例会場に貼って頂くよう依頼しています。9月の月間中は、例会毎に指示して、クラブの皆様にも、スローガンを理解して頂けるようお願いいたします。又、週報にも毎週記載して頂き、月間の時は各クラブの新世代委員長様が卓話などに対応して頂きたい。又、年数の浅いクラブに関しては、地区新世代委員会の担当者が卓話させていただきます。

以上が今年度の「新世代のための月間」の新世代委員会の活動方針です。今後ともよろしくお願い致します。



新世代月間の中の「アクトの日」

2003-2004年度 地区ローターアクト委員会
委員長 木村吉男(草津RC)

ローターアクトクラブは、世界各地のロータリークラブが社会奉仕プロジェクトの一環として大学レベルの青少年グループの結成を提唱し、1968年RIによりロータリークラブの公式プログラムとして認証され、1968年3月13日米国ノースカロライナ州のノースシャルロット・ローターアクトクラブが世界で最初に誕生しました。我が国においては、1968年6月に川越ロータリークラブ提唱で国際商科大学ローターアクトクラブが誕生し、2650地区ではその年の9月16日に京都西ロータリークラブ提唱で京都外国語大学ローターアクトクラブが誕生しました。そして現在では38クラブ500余名の会員を要する日本一いや世界一の地区として発展してまいりました。

さてロータリークラブが「超我の奉仕」を第一原則として、世界奉仕プロジェクトの中で特に次代を担う青少年の育成に力を注いできました。インターアクト・ロータアクトと15才から30才までの青年男女に重点をおいて、さまざまな指導と支援をしてまいりました。しかし今や15才からでは既に遅すぎるという議論の結果、RIにおいては0才から30才までとする、新世代の育成をかける事となりました。

ローターアクトでは、今から15年以上前にアジアゾーンにおいて、アクトをもじり毎年9月10日前後を「アクトの日」と定め、地区統一事業として、ゾーンによっては異なる

プログラムもあるが、主としてローターアクトが自己より若い世代を巻き込んだ事業を毎年展開して、その成果を上げてまいっています。地区委員会においても、地区ローターアクト代表が自らの思いを表現できる場、またアクター達が経験と知識を十分に発揮できる事業として大変重要であると認識し協力・指導にあたっております。この「アクトの日」を通じて、自らを含めた新世代の育成に熱意を注いで取り組んでおります。



インターアクトの良さを知ってください

2003-2004年度 地区インターアクト委員会
委員長 加藤 陽一 (京都西RC)

本年度も昨年に引き続き 2650 地区インターアクト委員長をさせていただくことになりました京都西ロータリークラブの加藤陽一です。今から 40 年前の 1962 年にアメリカフロリダ州のメルボル高校に最初に設立されてから今日までに 110 ケ国 9000 近いインターアクトが成長してきました。14 歳から 18 歳までの青少年のための奉仕プロジェクトがインターアクトです。当地区では 16 クラブのアクターが活躍しています。社会奉仕と国際理解の二本柱の目的があり、活動を通じて他人に対する思いやりや指導力を磨き自己の完成を図るという崇高な目標があります。

私たちはどうして奉仕が必要か、国際理解が必要が为什么呢。インターアクターは常にその疑問を考え、行動しています。

アクターは、名の通り行動する中・高校生です。では、どのような活動をしているのでしょうか。通学路や観光地の清掃奉仕、スピーチコンテストの参加、ダルニー奨学金募金、あしなが募金、歳末助け合い募金、交通安全のビラ配り、車いす駅伝や身障者マラソンの手伝い、海外研修、英会話教室、24 時間テレビ「愛は地球を救う」ボランティア、ぜんそく児サマーキャンプ、老人ホーム慰問、ふれあいコンサート、独居老人宅慰問・・・多彩に学業の間に活動をしてもらっています。その中で毎年、海外研修でここ数年タイに行っていました。タイとカンボジアの国境沿いの村に

民泊をしながらタイの子供たちとの交流をしています。たった二泊三日のホームステイですが、村人や現地の学生と本当に親密になります。国際交流は頭で考えるのではなく、体で入っていくことに意義があることを毎年痛感しています。言葉は違いますが、心は同じで平和を望まない人はいないことを知ります。そして、心から接している、相手を思いやる気持ちが感動を生み、いつも分けられるときは涙、涙のお別れですが、アクターたちは本当にいい経験をして帰ります。

今年は、年度始めに計画をしている都合上、新型肺炎 (SARS) の関係でやむを得ず国内研修をすることになりました。初めての国内での研修ですが内容はすばらしいものです。

8 月 3 日から 8 日まで富良野や札幌でいろいろな研修や体験をします。その中でも楽しみは、国際協力事業団 (JICA) が実施する高校生国際協力実体験プログラムに参加をすることです。また、老人ホーム慰問やリサイクルセンターの研修などすばらしい研修内容となっています。2650 地区のアクターが、どのように感動するか、そこからどのような気づきをするか、楽しみにしています。

40 年前にインターアクトプログラムがなぜ出来たか、そしてインターアクトのもつ重要性を今一度考えていただきたく思います。

ブリスベーン国際大会に参加して

2003-2004年度 国際担当幹事 木 下 道 信 (京都山城RC)

RI2003年国際大会は、2650地区国際交流委員会企画の「RI2003年国際大会・ゴールドコースト6日間」に参加した。期間も費用も手頃であったからか60名余の参加申込みがあったようだが、その後新型肺炎によるキャンセルが続出し、最終的に17名となった。

今までの国際大会のパターンは、開会式か閉会式のどちらかに参加し、後は観光であったが、今回はもう1本の柱として近隣の京都八幡RCと行動を共にし、地元のロビーナRCを訪問することにした。

6月1日、淡島国際交流委員長の指揮のもと、8時にANAホテルを出発、ブリスベーンの会場に向かう。

開会本会議は、全員揃って第1回目とし、12時半の入場までの約3時間は自由行動となる。大半の人はバスでコアラを抱けるローンパインコアラ保護区に出かけたが、私達は友愛の家を楽しむことにした。

RI2004年国際大会(大阪/関西)ブースでは、日本のホスト・ロータリアン等がバッジを配りPRに懸命。友愛の家のステージは茶道の実演があり、外国人でいっぱい。ステージの隣には茶室が設けられ、和服姿の女性が抹茶の接待をしてくれる。友愛の家で食事をし、12時半に会場に入ることにした。

開会は13時、ファンファーレで幕が開き、ロータリー所在国の旗の入場となる。大会の様子はロータリーの友・7月号に詳細に報告されているので省略。

6月2日の夜、ロビーナRCに5名がメイキャップをする。初対面の日本人のロータリアン、ヨーコ・スターリンさんがホテルまで迎えに来てくれる。予想通り美人であった。会場は20分ほど走ったロビーナ・タウン・センター内にあった。

1階の売店でビール等を買って、2階の例会場に上り、受付で20Aドルを支払う、この日は、夫人同伴の例会日で会場内は華やいでいた。18時30分開会点鐘。ロータリーソングはなし。私達をヨーコさんが紹介してくれる。続いて、バナーの交換を行い、2004年国際大会のバッジを配りPR。食事をしながら懇談をする。

会長より姉妹クラブの誘いがあり、丁重に承り、帰国後クラブに図り返答をすることにした。スピーチは日本人の弁護士で「オーストラリア人について」で、両国語で交互に話をしてくれた。この気配りには恐れ入る。

最後はクラブ幹部との記念写真を撮り解散となる。20時を回っていた。ずっと感動の連続であった。代表挨拶を英語でするよう準備をしていたが、幸か不幸かその機会がなかった。



奈良 R C 会長 石崎俊介の横顔

奈良ロータリークラブ 幹事 沢井啓祐

創立 52 年目の石崎会長は代々の眼科医です。現在は夫人、長男共に眼科医として活躍されております。今年度は奈良県眼科医会の会長職とも重なり、夫人は国際ソロプチミストの会長に就任されるなど、多忙ですれ違いの家庭生活になりそうです。趣味はゴルフ、ラグビー、旅行、茶道、がらくた収集といったところで、純粹、陽気（アルコールが入ったら）、心配性、凝り性というのが最近の印象です。また、眼科医という職業を通しての奉仕活動には熱心に取り組んでこられました。退会防止委員会など奈良クラブには無用と思っていたのは 3 年前までの事、創立 50 周年を機に高齢化と経済情勢の波をまともに被っております。伝統クラブの魅力を継承すべく、全委員会挙げての「増強」が



石崎 俊介会長とご家族



沢井 啓祐幹事

最大のテーマ、純増 10 名の目標は会長の指導力に期待されるところであります。何はともあれ、7 月 3 日のガバナー公式訪問、10 日の会長所信発表も無事終了し、早速に打ち上げパーティーを開催。この調子で打ち上げをしていくと、3 台の特大ワインセラーに眠っている会長お気に入りのワインが、この 1 年で消えてしまうことでしょう。

新会長の横顔

京都洛西ロータリークラブ 幹事 吉川 裕 丈



田畑 益弘会長



吉川 裕丈幹事

京都洛西ロータリークラブ第 21 代会長の田畑益弘さんを第 2650 地区の皆様にご紹介いたします。一言で表現するなら、何事にも前向きに取り組むバイタリティー満点、そして非常に温厚な性格の持ち主です。

在籍 20 年、そして数年前に幹事を経験されていることがバランスのとれたクラブ運営に非常に効果的であると思います。

いわば、20 通りのクラブ運営を見ていることは何よりも貴重な経験でしょうし、その 20 通りをうまくアレンジし、咀嚼して具体化する、すなわち楽しく・興味あるクラブになっていく可能性が十分あると思います。またこのことは、会員増強へと繋がるようにも思えます。

本年 21 年目を迎え、次の新しい節目に向かって成長するための準備と再度足元を固める大切な出発点と位置づけ、何事にも真摯な態度で全ての物事に接しておられます。

特にクラブ奉仕部門に力を注いで内部充実に務め、また「故きを温ねて新しきを知る」を実践されていることも会員には非常に好評です。

また、どちらのクラブでも 1 人や 2 人は必ず居られる「パソコン大好き人間」で、会長のご指導のもと我がクラブも IT 化の波に乗り遅れるどころか、上手に波乗りをしているほど新年度より IT 改革に力を注いでおられます。

ロータリークラブ 100% の意気込みで毎日を頑張っておられる田畑新会長です。

善意と愛で未来に夢を

京都西ロータリークラブ 幹事 野原 幸清

三木表悦会長は明治時代に創業の漆工芸を家業とする家に生まれて、現在は3代目の表悦として家業を継いで活躍中である。伝統工芸の後継者には小僧同様の見習い年月を経て当主になるのが多い中で、三木会長は京都市立美術大学工芸科大学院で学術的な基礎を身につけてから、平成元年に3代目表悦を襲名して伝統の漆芸にみがきがかかり、船舶の装飾を担当したり展示会のために東奔西走の活躍をなさっておられる。業界の役員も兼務しながら、39才の若いときに入会したロータリーの活動にも積極的に取り組んで来られた。その姿を見て育った長男の啓吾君は当クラブ提唱のローターアクトクラブに入会して会長、ゾーン代表を勤めてこられた。ご家族は先代表悦のお父さん、奥さん、啓



三木 表悦会長と御家族



野原 幸清幹事

吾君の4人家族であるがロータリー活動に理解ある皆さんに支えられて職業奉仕に始まるロータリー奉仕活動に積極的に取り組んでおられる。今期のクラブ運営には「善意と愛で未来に夢を」のテーマを掲げて陣頭指揮に当たっておられる。



芝野 桂太郎会長と御夫人



本郷 庄市幹事

いつもコンパスを正しく置ける人

大津ロータリークラブ 幹事 本郷 庄市

大津ロータリークラブ第54代会長芝野桂太郎さんを地区の皆様方にご紹介させていただきます。

芝野さんは昭和52年に大津ロータリークラブにご入会、以来26年間ロータリアンの基軸であります「奉仕の精神、超私の奉仕」を学び実践されて来られました。ご職業は、石油製品販売ですが、この職業を通しての「奉仕の精神」が業界の皆様方の前にもスマートに発揮され、33歳という若さで、全国でも例のない最年少で滋賀県石油組合の理事長に就かれ、以来様々なところでリーダーシップを発揮され続けておられます。平成8年に藍綬褒章を受章なさっている事も芝野さんの人格に輝きが添えられています。

更なる芝野さんの人となりのご紹介ですが、先ずスピーチのうまさをお伝えします。実に日本人離れしたウィットのあるスピーチをなされ、私たちクラブの会員が例会の会長の時間を楽しみにしております。このことは、おそらく大学時代の英語のスピーチで学ばれた結果だと思えます。

また、休みの日には、お家の庭の手入れに精を出しておられるのですが、これが半端じゃなく、プロに教えを請い、また独学を進め、今では松の剪定まで楽しんでおられます。

このような人となりの持ち主の芝野会長と共に一年間一緒にできることは、私にとって勉強の連続です。先ずは、人への細やかな気配りを勉強させていただいておりますが、最後には、「柔は剛を制する」という秘伝を会得することができればと思っております。

地区の皆様も大津へお出かけの際には、是非当大津ロータリークラブにメイキャップにお越しいただき、会長の時間を満喫していただきたいものです。



西村 七兵衛会長

新会長の横顔

京都南ロータリークラブ 幹事 谷口 主嘉

私ども京都南ロータリークラブの新会長である西村七兵衛氏は一言で言うところ「自然体の会長」です。お話をしていると、220名近い会員を抱えるクラブの会長とは思えないような親しみの感じられる方です。他人に対して決して威張らず、何よりも物事の本質を的確に捉え、既存の考え方に縛られずに判断をされます。

どうしてこのような事が出来るのかと聞いていたのですが、会長の職業を知ることによって解決しました。創業約400年になる仏教書専門の出版社「法蔵館」を経営されているのです。職業柄お付き合いをされているのは文化人が多く、自然と文化的な思考の基に物事の本質を捉えるようになられたのだと思います。

また美術にも造詣が深く、特に陶芸については40年以上の経験を基に一流の作品を作られます。

このように京都南ロータリークラブの会長にふさわしい文化的な方ですが私生活では奥様が他界されてからはずっとお一人で、隣に長男ご家族が住んでおられます。

もっとも今年度は京都南ロータリークラブが創立50周年を迎える節目の年であるだけに会長として多忙を極め、私生活を振り返るのは来年の7月になりそうです。



谷口 主嘉幹事

次世代につなぐ

長浜ロータリークラブ 幹事 畑 沢 昭 男

琵琶湖の北部、豊臣秀吉が最初に城主となった長浜は、人口6万あまりの小さい町です。しかし長浜ロータリークラブは昭和26年(1951)創立と言う長い歴史があります。

その長浜クラブに、54代会長として高山節二氏が就任しました。高山さんは、ロータリー歴20年、幹事を始めとして各委員長を努めてこられました。ロータリー運動に対する取り組み姿勢、又会員皆さんを引き寄せる情熱、先輩後輩との付き合いを大事にする考え等、長浜ロータリークラブに一目おかれた存在です。

学校を卒業後、名古屋で修行し長浜へ帰り、一代で現在地に土地を取得し、建物を建て、この地での商売を成功されました。ご家庭は、大きな住いに奥さんと二人でお住いになり、近くに息子夫婦が



高山 節二会長と御夫人



畑 沢 昭 男幹事

いて、仕事の後継者として頑張っておられます。仲むつまじい夫婦であると同じに家庭、家族に恵まれた高山さんです。

我が長浜ロータリークラブも、会員数が減少し、大変厳しいロータリー活動となっています。高山会長は持ち前の思慮深さにより、又人あたりの良さで、今年、改革推進を図り次世代に連げる長浜ロータリークラブにしたいと思っています。



稲本 初弥会長

親睦と研鑽

京都山科ロータリークラブ 幹事 手塚 石雲

ダンディーな紳士、それが稲本さんのイメージです。そのスマートな風貌の内には、若い時よりヨットで鍛えた頑健な肉体と精神が秘められています。その稲本さんが、ロータリー入会以来27年間に亘って心の中で温められた熱い思いを抱いて、我がクラブ第36代会長に就かれました。

揚げられた方針は、親睦と研鑽「善意と親睦をポケットに奉仕の心を学びます」です。

最近ややもすれば疎かにされがちなロータリーの理念をもう一度しっかりと学んでロータリーの基本を身に付けると共に、奉仕の心の源である親睦を深めることによって、魅力あるクラブ作りをしようとのお考えです。

その実現に向かって単に過去を踏襲するのではなく、独自のクラブ運営を図ろうと、多くの新しい試みを示されています。

御自身内外に会社を持たれ、公私共に忙しいことと思いますが、ロータリーにとって逆風の吹く中ヨットに変わってクラブの舵を取って頂きますようお願い致します。



手塚 石雲幹事

新会長の横顔

京都北ロータリークラブ 幹事 森中 勇雄

京都北ロータリークラブの谷口新会長は、ロータリー暦23年で国際奉仕委員長、青少年委員長などを歴任し、その経験に基づく厚い信頼と人望により、新会長に就任されました。当のご本人はまだまだ勉強不足だからと謙遜をされますが、クラブの活性化と更なる発展のため「和やかで楽しい例会」と「会員増強」を方針として掲げられ、積極的なクラブ運営を目指されています。ご本業でも、住宅建設会社を積極的に経営されておられるほか、日本増改築産業協会会長、京都府住宅改良協同組合理事長、京滋インテリア協会名誉理事(元理事長)、インテリアスクール校長をはじめとする重職として活躍されており、日本における住宅増改築における指導的な役割を長年にわたり担われ、建設大臣よりもその功績を表彰されておられます。現在でも、「リフォーム成功塾」を主催され講演活動や実践指導のため日本全国を精力的に飛び回っておられます。



谷口 政弘会長と御夫人



森中 勇雄幹事

實奈子夫人は、会社の中で谷口会長の補佐をされておられますが、谷口会長が仕事やロータリー活動に精力的に活動できるのもご夫人の内助の功の賜物と推測されます。ところで、谷口会長はその風貌からは想像できませんが、あまりお酒は強いほうではないそうなので、宴会ではあまり無理をされず、くれぐれも健康に留意されて、明るく楽しいロータリーを目指して頂きたいと思います。

ロータリーの大親分

福井ロータリークラブ 幹事 佐々木 知也

本年度の福井RCの基本方針の中に「明るく、元気で、楽しいクラブを目指そう」というテーマがあります。これは正しく山本一雄新会長の人柄をそのまま現したものであり、ご自身のフィロソフィーともいえるものです。新会長就任にあたっては、会員みなさんから「山本さんが会長なら楽しいクラブになりそうですね」という期待の声が多く、クラブ会員にとっても本年度のRC活動を楽しみにしているようであります。

年度中に還暦を迎える山本会長ですが、年齢よりは見た目も行動も若々しく、とくに口と顎に蓄えたヒゲとその風貌は俳優の勝新太郎を想起させる人も多いようです。(本人はションコネリーと言ってますが・・・)



山本 一雄会長と御夫人



佐々木 知也幹事

ロータリー歴は20年、仕事は自動車販売と燃料を扱う県内最大の専門商社を核として、自動車学校、老人福祉施設等を経営する辣腕社長であります。過去に福井青年会議所理事長も経験しており、若い頃から地元経済界のリーダー的存在として、多くの人から頼りにされ慕われているのが、福井ロータリークラブの山本大親分です。

にこにこ生きる

京都東ロータリークラブ 幹事 安藤 宇助

佐藤会長のお仕事は、お坊さんです。東山山麓にある丸山公園に隣接した大雲院というお寺のご住職をされておられます。お忙しい毎日を過ごされておられますが、暇を作って奥様とご旅行されたり、ゴルフを楽しんでおられます。ゴルフの腕前はなかなかのもので、学生時代野球とボートで鍛えた足腰は今だ健在で、ドライバーの飛距離は若者に引けをとりません。

佐藤会長に初めてお会いになった人は、にこやかで、物静かで、思慮深い方だと印象付けられるでしょう。昨年7月、幹事就任の要請を受けてからこの1年間で数10回の打ち合わせをさせていただきお目にかかる機会がふえましたが、お人柄につきましては、第一印象と変わりが無いことにより一層確信がもてるようになりました。



佐藤 善穰会長と御夫人



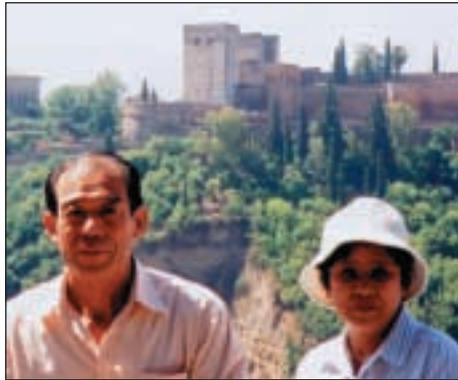
安藤 宇助幹事

私が大変おっちょこちょいでよく間違いを致しますので、会長に注意を受けることがよくあります。このような私ですのでこれからの1年間、会長のお手伝いをさせていただくのが私の本来の任務ですが、会長に助けていただくことが多くなりそうです。

温厚誠実の中に信念をもって

亀岡ロータリークラブ 幹事 中村 稔

京都駅からJR嵯峨野線で約30分、京都市の西隣に位置する亀岡市をテリトリーとする我が亀岡クラブは創立以来34年目を迎えます。本年度会長の石原與五郎さんは、今流行の「スローライフ」という言葉がピッタリあてはまる人です。温泉あり、川下りあり、田園の中に少々都市機能もある「聖なる水と緑の奏でる知恵の郷」亀岡市。石原会長はこの街で料理旅館と、古都京都の西の守護、火伏の神として知られる愛宕山のふもとで、今では全国的に稀少品となっている天然砥石の製造販売業を営んでおられます。亀岡市内から車で20分の山あいの事業所は、正に自然に囲まれた自然と共生している事業所であります。もちろん代々その環境の中で生活されており、一見気難しいおじさんの風貌で威厳があり、初対面の方は気軽に話しかけ難い雰囲気ですが、一度話し出すと正に自然の中で生まれ育った、純朴且つ朗らかな大変明るい性格、誰からも親しまれる人柄の持ち主です。



石原 與五郎会長と御夫人



中村 稔幹事

業界では全国砥石組合連合会の会長も歴任され、その年の京都の時代祭での侍大将の武者姿はテレホンカードとなって私の机の中にしまわれております。お仕事柄、刀剣や高級刃物を扱う専門家との交流が多く、全国的にも知名度の高い商品を商っておられるということもあり、「スローライフ」の中にも一本筋の通った信念をもって行動されるタイプの方です。

会長としての一年間、すばらしい人間性を全面に出して御指導いただけるものと思います。

新会長の横顔

京都北東ロータリークラブ 幹事 岡本 泰一



西崎 義雄会長



岡本 泰一幹事

京都北東ロータリークラブは、2003年7月に、創立15周年記念行事を迎える若きクラブであります。この記念すべき年度に西崎会長が就任されることは、会員一同大いなる喜びで、是非とも創立15周年記念行事の成功を期するよう、一致団結しています。さて、西崎会長は、京都の浄土宗本山知恩院近くの東山区で歯科医院を長年開業され、世代を超えた地元の方々から大変感謝され、身をもって、職業奉仕を実践されておられます。大正12年生まれの会長は、今年80歳を迎えられますが、豊饒たる行動は「万年青年」の異名を得ておられ、普段は寡黙で温厚な性格ですが、「大阪国税局長表彰」を受けられるほど、社会正義を貫く信念の持ち主でもあります。

ご家族は、今年金婚式を迎えられる幸子令夫人と独立された二人のお子様。お隣には、長男ご一家がお住まい、充実した毎日を送っておられます。

ところで、今年の会長テーマは、「魂の入った誠の奉仕」であります。云わく、一段と深い「奉仕」の在り方を示されたと理解し、鋭い洞察力と懐の深さの会長の下、我々は真のロータリアンとして行動することを決意致しました。



田中 和朗会長と御夫人



鶴島 義和幹事

田中和朗新会長の横顔

京都モーニングロータリークラブ 幹事 鶴島 義和

昭和16年のお生まれで、現在62才。現在は京都府城陽市で奥様とお二人暮らし。息子さんお二人は既に立派に独立され、娘さんも嫁がれています。合わせて3人のお孫さんにも恵まれておられます。悠々たる時をお過ごしであると同時に兎に角お元気です。職業分類は事務用品卸業です。文具用品総合メーカー コクヨの京滋地区総括店、株式会社西京コクヨの代表取締役として平成9年に就任され、持ち前の眼力と人望高き人柄から又、断りベタな性格も加味し業界の組合理事長職もつとめておられます。趣味と性格を会長にお尋ねしますと、親しい仲間との旅行、下手なゴルフとこれ又下手なカラオケ。性格は「大雑把」な面と「几帳面」さがはっきりしている。このように申されました。側近の私なりの立場から申し上げますと、甚だご無礼とは存じますが「大雑把」というところは、最近になり私にもよく理解できますが、「几帳面」というお言葉には今の所よく理解できません?? 他方親分肌と申しますかカリスマ性を持ち備えておられ明るく、又闊達さは誰しもが認めるところでもあるのではと思います。

これから先一年近く会長と共にわが京都モーニングRCをお預かりし運営させて戴くわけですが、文字通り「一蓮托生」至らぬ私どもをご教示戴き、共に心通える日々を過ごせる様、努力、精進してゆきたく存じます。田中和朗会長、何卒宜しくお願い申し上げます。

若林会長の横顔

京都洛北ロータリークラブ 幹事 宇野 進

一口で言えば「元気な人」になります。幹事になってからも会長といろいろな所へ行きますが、疲れた、忙しい、大変やという意味の言葉を聞いたことがありません。ロータリー活動だけでなく、仏具組合の理事長として業界全国組織のお世話をされたり、京都では、迎賓館建設の伝統工芸技術誘致のまとめ役の一人として、また京都商工会議所では京都ブランド推進特別委員長として構想を練ったりと、テリトリーである伝統産業の振興のために活躍中です。お役が好きだけかと思うと決してそうではなく、自分の能力が発揮出来る範囲をしっかりと見極められておられるのに感心いたします。

若い頃から青年会議所や伝統産業青年会に所属されていたせいで、何処へ行かれても先輩後輩を問わずお友達の多いのにも驚かされます。ご本人は結構好き嫌いも多いように言われますが、会長に対する悪口を聞いたことは有りません。いつも口癖のように「動機善なりや、私心なかりしか」、「謙虚にして奢らず」と私も入会しています盛和塾、稲盛塾長のお言葉を言われているのが印象的です。京都洛北ロータリークラブ創立30周年の記念すべき年に当たります。これからも会長とともに頑張っていきたいと思っております。



若林 靖博会長と御夫人



宇野 進幹事



種田 征四郎会長

種田新会長の印象

京都洛中ロータリークラブ 幹事 竹内 弘太郎

私が幹事役を勤めるに当たり、最初に種田会長にお聞きしたのは、会長として何をしたいと望まれますかということでした。その問に対して、会長は、クラブ会員の方々が楽しいクラブライフを送って欲しい。

対外的な活動としては、次の世代を担う子ども達と、熟年、老年期世代が交流する場を作りたいなあとおっしゃいました。

産婦人科の医師である会長は、端で見ている限り、1日24時間片時も患者さんのことが頭から離れずにおられ、新しい世代を生み出す責任と、喜びを感じておられるように思います。

新しい命が生まれる現場にいつも立ち会われている所から、先の抱負が生まれ、世代の循環と交流が重要と考えられたのでしょう。

スピーチでよく話される中に、自利利他という言葉があります。

この言葉に含まれている、他の人達に奉仕する心にロータリーの奉仕の心を重ね合わせて、御自身の職業に邁進しておられます。

この様に、種田会長には、真面目過ぎるほど真面目な印象を受けているのですが、この頃少し、少々固過ぎる感のある話しの合間にユーモアも交えられ、別の面も垣間見えるようになりました。

実直そうな風貌の内には、おそらく大きな情熱が秘められているのですが、その熱意が会長の任期の間に発揮され、成果を収められることを願い、私自身も幹事として微力ですが一助になりたいと思っています。



竹内 弘太郎幹事



石井 雅之会長

新会長の横顔

敦賀ロータリークラブ 幹事 吉川 文雄

敦賀ロータリークラブは、2650地区4県の1番北、福井県敦賀市にあります。原子力発電所が数多く立地されていることで有名な処ではありますが、まだまだ知名度は低いようです。

当クラブは昭和32年6月の認証以来、46年を経て47年目に入りました。昭和61年4月に入会された石井さんは、これまでに幹事として奉仕すること3回、17年を経て会長にられました。家業のインテリア石井の社長として、普段は現場を走り回りながら、いろんな奉仕活動にも取り組んでおられます。

今までの豊富な経験により、ロータリーのことは知り尽くしておられる石井さんですが、ロータリアンとしての奉仕活動ばかりでなく、当地で創立30周年を迎えるボーイスカウト敦賀第1団の団委員長として、子供たちの健全な育成にも力を注ぐスカウトでもあります。

クラブの運営には、福井正典ガバナーの「ロータリーをたのしくしよう」の方針のもと、今までの活動を一つ一つ見直して、楽しく活力のあるクラブ運営を目指しています。



吉川 文雄幹事



北村 昌造会長と御夫人



大森 修太郎幹事

会長の横顔

彦根ロータリークラブ 幹事 大森 修太郎

北村会長は現在商工会議所の会頭、納税協会の会長、そのほかいくつかの肩書きがあり大変お忙しい状態です。

北村会長は商工会議所の副会頭を長年勤められ、私は専務理事としてお仕えしたわけですが、仕事に対しては大変誠実に取り組まれたことが強く印象に残っております。

本業の印刷業の方でも東京、名古屋、大阪ほか広く営業所があり、いすの温まる暇もない状態ですが、クラブ例会の雰囲気作りや会員増強には格別の思いがあり、厳しい指示が出てその具体化に幹事として日夜腐心しておるという状態です。

最近知ったことですが成人のときから毎日日記をつけておられるとのことなかなかまねの出来ないことと感心しております。一線を退いた後に「私の履歴書」が出版されるようです。乞うご期待。

昼間は甘いものが好物なのに、夜になるとお酒のほうも結構楽しめますが、風貌のせいでもすぎるのでひとつの店の滞在時間が極めて短いのが特徴のようです。

趣味はゴルフと最愛の奥様との海外旅行ですが今は時間がないようです。

(財)ロータリー米山記念奨学会 米山功労者表彰が新しくなります！

2003年度がスタートしました。新年度から特別寄付に対する表彰制度が、一部改定されます。

米山功労者をもっと身近な目標としていただくために、現行の累計30万円毎の表彰を累計10万円毎の表彰に改定いたしました。

ぜひ、今回の改定について積極的にPRをしていただき、会員の皆様が米山功労者になられますようよろしくお願いいたします。

新表彰制度は・・・

■準米山功労者(累計3万円)と米山ファンドフェロー(累計15万円)は廃止となります。

■米山功労者の表彰は、現行の累計30万円毎から累計10万円毎に変わります。

■新名称は第1回に達した方を「米山功労者」、第2回から第9回に達した方を「米山功労者(マルチプル)」、第10回以上の方を「米山功労者(メジャードナー)」とお呼びいたします。

■すでに米山功労者となられている方は、自動的に新制度の10万円刻みの表彰回数に変更となります。10万円以上のご寄付されている方も米山功労者となります。

〔例〕累計30万円達成者

現在：「第1回米山功労者」→改定後：「第3回米山功労者(マルチプル)」

■表彰品は米山功労者になれる毎に感謝状をお贈りします。(第1回には感謝状を入れるケースが付きまます)。

現在の表彰品である盾(メダル付き)およびピン(男性：ネクタイピン、女性：ブローチ)は現行と同様に30万円毎にそれぞれ贈呈いたします。

■米山功労法人、特別米山功労法人および米山功労クラブに対しての表彰は変更ありません。

■新しい感謝状は7月以降に功労者になられた時点でお贈りします。遡っては送りいたしませんので、お申し出頂ければお贈りいたします。

問い合わせ先

財団法人 ロータリー米山記念奨学会

TEL：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281

担当：志村・大庭



2003年7月3日(木) 奈良ロータリークラブ

石崎 俊介会長 沢井 啓祐幹事

福井ガバナーの公式訪問初日の緊張と心配は、奈良 RC の完璧な準備と伝統あるクラブ運営、更には岡村、中野両 PG、石崎会長以下皆さんの熱意と心配りで、素晴らしい公式訪問となり、以後の公式訪問の自信と活力を戴きました。

(高橋 秀和 記)



福井正典ガバナー公式訪問

2003年7月4日(金) 京都洛西ロータリークラブ

田畑 益弘会長 吉川 裕丈幹事

公式訪問当日が第 21 期の初例会。1001 回目の例会でもあり、大きな節目を越えた自信と輝きに満ちていました。田畑会長の「シンプルな価値観の共有」に、多様化を乗り切るクラブの隆盛をみました。

(駒 重則 記)



2003年7月7日(月) 京都西ロータリークラブ

三木 表悦会長 野原 幸清幹事

津田パストガバナーを始め、会長、幹事、多数の役員様の心温まる出迎えを受け、会長幹事懇談会、地区委員と元会長交歓会、例会、協議会とスムーズに進行した。協議会は各委員長の熱意が強く感じられ、クラブの活力がにじみ出ており感銘を受けた。

(高橋 秀和 記)



2003年7月8日(火) 大津ロータリークラブ

芝野 桂太郎会長 本郷 庄市幹事

例会 30 分前からバイキング料理。自由な交歓と談笑。調和のとれた例会。活発な同好会活動の中でも異彩を放つ IT 同好会。芝野会長の「親睦こそロータリーの原点」が未来に繋げると確信しました。

(駒 重則 記)



2003年7月9日(水) 京都ロータリークラブ

九條 道弘会長 中川 利夫幹事

創立78年の日本を代表するクラブの公式訪問は緊張の連続であったが、会長、幹事の心配りと、小谷 RI 元理事、堀場、西村 PG の出席も得て、素晴らしい訪問となった。国際大会、地区大会の問題点もガバナーの思い通り、会長、幹事の同意を得られ、大変有意義であった。

(高橋 秀和 記)



2003年7月10日(木) 京都南ロータリークラブ

西村 七兵衛会長 谷口 主嘉幹事

会員数 215 名と地区最大の京都南 RC の公式訪問は、会長幹事懇談会、例会、協議会を通じて、クラブの活力と堅実な運営に目を見張るものがありました。50 周年を迎え、西村 PG のもと地区のお手本として益々発展されると思います。

(高橋 秀和 記)



2003年7月11日(金) 八日市ロータリークラブ

山形 芳男会長 岩嶋 益明幹事

伝統的な近江商人の街だけに、和やかな中にも厳しい質疑応答が交わされました。不景気・不透明な世情の中で、ロータリーを愛する素晴らしい仲間達の、纏まりの内に進む、激しい情熱に感動しました。

(駒 重則 記)



2003年7月14日(月) 長浜ロータリークラブ

高山 節二会長 畑澤 昭男幹事

例会、協議会共規律正しく、歴史と伝統を感じました。協議会では財津パストガバナーの適切なお発言もいただき、スムーズで活気あふれる討議があり、終了後創立50周年記念事業で完成した、金屋公園を見学し感服しました。

(高橋 秀和 記)



2003年7月15日(火) 京都山科ロータリークラブ

稲本 初弥会長 手塚 石雲幹事

稲本会長の「親睦と研鑽」は、「善意」とは何かへの問い掛けであり、「奉仕の心」を学ぶロータリー哲学そのものと思いました。増田PGの日頃のご薫陶が伺われ、心温まる楽しい一日でした。

(駒 重則 記)



2003年7月16日(水) 福井北ロータリークラブ

前田 昇会長 多田 伸幹事

「ロータリーは楽しいもの」、福井ガバナーからロータリーバッジを受ける二人の新会員を、見守る皆の顔は輝いていました。活発な六人の女性会員・110数名の大きなウネリは、本当に若々しいものでした。

(駒 重則 記)



2003年7月17日(木) 福井ロータリークラブ

山本 一雄会長 佐々木 知也幹事

明るく元気で楽しいクラブ、会員増強は活性化の基本、海外クラブとの交流という山本会長の力強い目標がすべて現実のものだと実感しました。宮崎PGを中心に充実したクラブで、地区会員増強モデルクラブとしての活躍が期待されます。

(高橋 秀和 記)



2003年7月18日(金) 京都東ロータリークラブ

佐藤 善穰会長 安藤 宇助幹事

佐藤会長の「楽しみながら修練を積む」は、張りつめた緊張の中でのアッサンブリーで実感しました。その充実感には感激しましたが、安藤幹事の「偉い人が多いから苦勞も多い」がよく分かります。

(駒 重則 記)

2004年待望の国際大会がいよいよ大阪で開催!

ー 2004年国際大会は下記の通り開催されます。

日本では26年ぶりの開催となります。是非参加しましょう。ー

● 開催日時、会場

開催日：2004年5月23日(日)～26日(水)(大会前プログラム5月20日(木)～)

会場：大阪ドーム(開会式、本会議など)

大阪国際会議場(プレコンベンションなど)

リーガロイヤルホテル(友愛の家など)

プログラム(予定)：

5月20日(木) 午後 登録開始

5月21日(金) 終日 プレコンベンション(国際研究会等)

5月22日(土) 終日 友愛の家(5月26日まで終日開催)、プレコンベンション

終日 ホスト主催京都デー

夕刻 ホスト主催ウエルカムイベント

5月23日(日) 夕刻 開会式(オープニングイベント)

5月24日(月) 午前 第2本会議

午後 討議とワークショップ

夕刻 ホストホスピタリティの夕べ

5月25日(火) 午前 第3本会議

午後 討議とワークショップ

夕刻 ホスト主催パークフェスタ

5月26日(水) 午前 第4本会議

夕刻 閉会式(クロージングイベント)



● 参加登録方法

登録書式一式は、RI本部より直接各RCへ送付される予定です。その登録用紙に各自ご記入の上、登録料を添えてクラブへお送りください。クラブはまとめた登録用紙と登録料を日本事務局へ送付ください。

日本事務局は、登録用紙の記載内容と入金を確認し本部へ送付されます。

*登録料：2003年12月15日まで US\$300.- (カップルはUS\$400.-)

(12月15日以降の料金については、ガバナー事務所、クラブへお問合せください。)

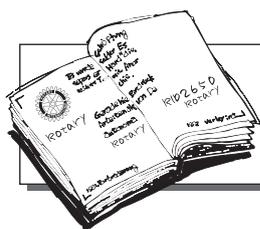
● オントゥー大阪委員会の設置

2004年国際大会(関西)の皆さまへの参加促進をお願いする意味で全地区へ「On to Osaka委員会」を設置いただきました。これからも地区ガバナー事務所、On to Osaka委員会を通して皆さまへ国際大会(関西)の情報を発信していきます。

● 国際大会事務局

2004年国際大会に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-5-28 久太郎町恒和ビル4階
 電話：06-6258-0561 ファックス：06-6258-0562 Eメール：sec@ri2004.com
 ホームページ：http://www.2004kansai.jp



文庫通信 (190号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に設立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1 万 9 千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

一地区大会講演より一

- ◎ 「21 世紀における日本の課題」 吉田學 2003 10p (D.2690 地区大会)
- ◎ 「日本・最良の選択」 俵孝太郎 2003 17p (D.2690 地区大会)
- ◎ 「地方都市の論理と主張」 大原謙一郎 2003 19p (D.2690 地区大会)
- ◎ 「現代日本の課題とその前途」 中曽根康弘 2003 9p (D.2580 地区大会)
- ◎ 「怪しげな時代を迎えて」 渡部昇一 2003 8p (D.2770 地区大会)
- ◎ 「どうなる日本の政治と経済」 森田実 2003 6p (D.2760 地区大会)
- ◎ 「行政とボランティア」 田中康夫 2003 6p (D.2600 地区大会)
- ◎ 「新しい時代の潮流」 宮崎緑 2003 14p (D.2740 地区大会)
- ◎ 「アメリカとアメリカ人」 大園純也 2003 6p (D.2740 地区大会)
- ◎ 「心の健康は素敵なコミュニケーションから」 福島敦子 2003 18p (D.2540 地区大会)

ロータリー文庫

〒 105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館 7F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日

第1回 新世代委員長会議

2003年7月19日、ホテル京阪京都(京都駅)において午前中10:00～11:30 第4回地区新世代委員会の会議を行い、午後1:00～4:00には、当ホテル2階 桜の間で地区94クラブの新世代委員長会議が開催されました。福井正典ガバナーのお話の中に、青少年に対して、暖かい心のこもった愛情で、手を貸そう(Lend a hand)、またその会議の目的は、地元レベルで、新世代が地域の指導者と関心ごとを話し合いの出来る対話の場を作ることであると述べられました。



当地区94クラブで「新世代のための会議」開催のためのフォーラムを実施致しました。その内容が各クラブによって色々と変化してきています。もう一度、原点に振り返って、私達の新世代委員会がやるべきことは「第8章の新世代のためのプログラム」です。そこで、昨年に実施された「新世代のための会議」60クラブの中から選別して5クラブの新世代委員長(奈良RC、福知山RC、京都朱雀RC、大津東RC、勝山RC)が熱意をもって発表されました。参加者各位に十分な成果が得られたと思います。

その後、15分の休憩をして、参加者全員を10の班別で、それぞれ熱心なリーダーと書記のもとに、テーマ「今年度の新世代のための会議にむけて」のグループディスカッションの中で、1時間余り熱心な討議がありました。

締めくくりのご挨拶として、岡村吾郎直前ガバナー(地区新世代担当諮問委員)が、親が子供に手を当てる「手当て」の言葉の意味は、親が子供にスキンシップすることで親の愛情を伝えて、子供を育てる事が大切だと述べられました。また、地区ローターアクト西村孝之副委員長、並び、地区インターアクト倉田義有委員に出席いただきました。参加者各位のご協力に深く感謝しております。

新世代委員長 森定 秀夫

国際ロータリー日本事務局からのお知らせ

RI 日本事務局 奉仕室長 大木 光男

ブリスベン国際大会の6月2日における「日本語によるグループ討論」の際に、「現職を引退された方の職業分類」に関する質問があり、後日当日本事務局より調査の上ご回答することになっていましたが、RI世界本部に確認の上、本件に関し以下の通りご回答いたします。

新たにクラブへ入会する引退された方は、職業分類を持たなければなりません。この職業分類は、引退前の以前の職業に基づくものであります。また、クラブに入会する時に引退しているロータリアンの職業分類は、その職業分類に属する会員総数に含めません。

従来、クラブより本件に関しご質問があった際には、当日本事務局では、このような引退された会員は、職業分類を持たないとご回答いたしておりましたが、前述の通り訂正させていただきます。

ガバナー事務所からのお知らせ

①IM第1組ゼネラルリーダー変更のお知らせ

IM第1組 9月27日(土)

ホストクラブ：八日市南RC

ゼネラルリーダーが山崎時雄パストガバナーから財津晃パストガバナーに変更になりました。

②12月が家族月間になりました

2003-04年度第1回国際ロータリー(RI)理事会において、12月を家族月間とすることが決定されました。これは、マジリアベRI会長が家族の重要性を提唱したことを称えたものです。なお、2月の第2週の「家族週間」は廃止されます。

お詫びと訂正

●月信 Vol.1

- 30ページの一行目「2004年4月」とありますが、「2000年4月」の間違いです。
- 38ページ公式訪問、IM予定表の8月のところで、3日(日)京都平安から7日(月)福井西の1週間分が上にずれてました。正確には、4日(月)京都平安、5日(火)舞鶴、6日(水)奈良東、7日(木)京都桂川、8日(金)福井西です。
- 15ページの右側の下から7行目「門を掛けなくて戴きたい」とありますが、「門を掛けなくて戴きたい」の間違いです。
- 37ページ インターシティミーティング9月27日(土)八日市RC→八日市南RC
お詫びして訂正致します。